

道徳「たまちゃん、大好き」～ 18日(火)北信地区初任者研修～

北信地区の初任の先生方10名が本校に集まり、実際の授業を基に、道徳の指導法について研修を行いました。授業は4年生の学級で行われ、資料から、**友達と互いに理解し合い、信頼し、助け合う**ことの大切さを学習しました。

【資料のあらすじ】まる子は、たまちゃんとタイムカプセルを作っとうめる約束をしました。しかし、たまちゃんは急にお母さんに留守番を頼まれてしまい、待ち合わせ場所に行くことができませんでした。悲しくなったまる子は、二人で作ったタイムカプセルを捨ててしまいます。次の日、あやまってきたたまちゃんを、まる子は許すことができませんでした。家に帰り、お母さんから、おなべの火の番をしているように頼まれたまる子は、たまちゃんの気持ちに気づきます。タイムカプセルを探しに出かけたまる子に、ピアノのおけいこにいく途中のたまちゃんが声をかけました。「まるちゃん」...



この資料は、子どもたちにはおなじみの「ちびまる子ちゃん」の一話がもとになっています。子どもたちは、この資料を読んで、まる子とたまちゃんの友達関係にいろいろなことを学びます。学習の様子は次の通りです。

先生：約束を破られた経験は？ そのときはどんな気持ちでしたか。

二人で作ったタイムカプセル。待っても来ないたまちゃん。まる子、カプセルを捨ててしまう。



資料を読む前に、実際の経験を思い起こし、そのときの気持ちを発表し合いました。児童：約束を破られ、ほかの友達のところへ遊びにいかれた。児童：クラス替えて、遊ばなくなった。このことによって、まる子の立場に寄り添いながら、資料を読みすすめていくことを願いました。

あやまるたまちゃん。しかし、許すことのできないまる子。

先生：あやまってきたたまちゃんを、なぜまる子は許せなかったのでしょうか。

楽しみにしていた約束を破られたときの許せない気持ちを発表し、共感しながら聞きました。

まる子の「20年後のたまちゃんに一生懸命手紙を書いたのに」等の悲しい気持ちまで考えられれば、さらに話し合いが深まったと感じました。



児童：寒い中をずっと待っていたのに来ないから、おこってしまったと思う。

おなべを見ていて、ハッとする
まる子

先生：「まる子はハッとした」このときまる子はどんな気持ちだったでしょう。



まる子は今ごろになって、たまちゃんの気持ちを考え、許してあげなかったことに気づいて、「ハッとした」と思います。

相手と同じ状況に自分を置いてみることで、初めて相手の気持ちが理解できるもの。まる子が、自分の悲しい気持ちを押さえ、たまちゃんの立場に立って考えられたすごさに気づきたい場面です。さらに、

「たまちゃんからの大切な手紙も捨ててしまった。どうしよう…」等、まる子の心の奥の気持ちまで考えることができれば、一層よかったかと思います。

たまちゃんにだきつき、涙が止まらないまる子。

先生：まる子はどんな気持ちで「ごめんね」とあやまったのでしょうか。

児童：たまちゃん是一次あやまったのに、許してあげられなくてごめんね。児童：土手にタイムカプセルを捨てて、ごめんね。… まる子とたまちゃんの気持ちが通じ合い、友達の絆が深まったことをみんなで確認することができました。

この資料の最後は「**たまちゃんとまる子は、また新しくタイムカプセルを作りました。二人とも同じことが書いてあるのがわかるのは、まだまだ先の二十年後の話です**」となっています。さて、どんな手紙を書いたのでしょうか？



【校長講話】1年目であろうとも、子どもにとっては一瞬一瞬が大切。責任をもって、指導をしてください。自分が子どもになってみれば、このくらい（写真参照）大きく先生は見えます。子どもの目線まで腰を下ろすと、自然と会話も多くなります。そして、この子の気持ちを理解してよさを認めてあげてほしい、先入観で子どもをとらえてほしくないという保護者の方の願いにこたえてあげてください。来年は、是非、学校の中心になって活躍を！

初任の先生方は、こうした研修を積みながら、子どもたちが確かな学力を身につけるよい授業を目指して、日々がんばっています。今後とも、ご支援をお願いいたします。

屋代南高校の皆さんによる「科学教室」開催

14日（金）に今年2回目となる教室を開いてくれました。6年生の皆さんは、教えてもらったり実際にやってみたりと、とてもよい経験を積むことができました。

【実験工作】ペットボトル空気砲、ミニ熱気球、バスボム（入浴剤）、ストロー工作、スーパーボール、リンググライダー、浮沈子、ポリパラシュート、ブーメラン

科学に親しむよい機会となりました。屋代南高校に感謝!!



全体で酸・アルカリの実験